

## 【 検 査 】

### 158 TARCと非特異的IgE半定量又は非特異的IgE定量の併算定について

《令和6年5月31日》  
《令和8年6月1日更新》

#### ○ 取扱い

D015「17」TARCと「11」非特異的IgE半定量又は「11」非特異的IgE定量の併算定は、原則として認められる。

#### ○ 取扱いを作成した根拠等

IgEは、気管支喘息やアトピー性皮膚炎等、I型（即時型）アレルギーに関与する免疫グロブリンである。非特異的IgEは、I型アレルギー疾患患者で高値になるため、I型アレルギー疾患の診断や経過観察に有用であると考えられる。

また、TARCは、アトピー性皮膚炎患者の重症度マーカーであり、治療薬の選択や変更を検討する指標として、臨床的に有用であると考えられており、非特異的IgEとは、検査の臨床的意義が異なる。

以上のことから、D015「17」TARCと「11」非特異的IgE半定量又は「11」非特異的IgE定量の併算定は、原則として認められると判断した。